

県民の声等を取り入れた事業一覧

(令和5年12月1日～令和6年3月31日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映・対応状況	事業区分	事業名	予算額
ノーリフトケアを広めてほしい。	長寿社会課	令和5年度の介護サービス事業者集団指導において、腰痛予防指針等ノーリフトケアについての情報提供を行いました。引き続き、周知していきます。 また、介護職の業務負担軽減に活用できる介護ロボットなどの導入について、補助金により支援しています。	新規	介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業	861,275
子育てについてこれといった支援が少なく感じる。子育て王国らしい支援を行ってほしい。	子育て王国課	シン・子育て王国と通りの実現に向け、保育料無償化、不妊治療費助成、産後ケア利用料無償化、小児医療費無償化、高校生等通学費助成、私立中学校授業料等支援、在宅育児世帯への経済的支援、子育て応援パスポート制度など子育て世帯の負担軽減や育児環境の整備など子育て支援施策を実施しているところです。 令和7年度は若い世代が将来に展望を持ち、希望する誰もが安心して結婚し、子どもを生み・育むことができるよう、プレコンセプションケアの推進や妊産婦の交流場所づくり等の産後ケアの拡大推進を予定しています。	新規	プレコンセプションケア推進事業	16,913
産後の子育て支援について市町村でのばらつきをなくし、母親が気軽に休める環境を平等にしてほしい。また、産後ケア施設がもっと増えることを願います。	家庭支援課	令和6年度は産後ケアを含む妊娠から周産期の様々な課題について、市町村及び医療機関等と意見交換を実施するとともに、産後ケア事業者に対して産後ケア施設整備に係る補助を行いました。 また、令和7年度から、産後ケア事業が子ども・子育て支援法における地域子ども・子育て支援事業に位置付けられ、市町村の区域を超えた広域的な調整に関する取組が都道府県の役割として明確化されたことを踏まえ、受け皿となる産後ケア施設の更なる支援及び産後ケア内容の充実に取組めます。	拡充	産後ケアアトータルサポート事業	37,949
山陰は東西に広大なため、移動が不便で文化の格差を感じる。交通アクセスを改善してほしい。	博物館・美術館整備課	これまで博物館が実施していた移動美術館やコレクション宅配便など出向していく事業を美術館でも実施し、また、文化の拠点であるアートミュージアムの企画充実の支援を継続することにより、県内どこにいても気軽に鑑賞できる環境づくりに努めています。	拡充	アートな鳥取創出事業	162,469

(令和6年4月1日～令和6年11月30日に受けた意見・提案)

(単位：千円)

意見、提案の概要	担当所属	反映・対応状況	事業区分	事業名	予算額
中部療育園について、現状の体制では間に合っていない。窓口や人を増やすなどの適切な運営をするべき。	子ども発達支援課	電話がつながりやすくなるよう、予約受付の電話回線を増やしました。 さらに、令和7年3月から新たにインターネット予約システムの導入を予定しています。	新規	中部療育園費	990
県が率先して節電のキャンペーンをしてはどうか。	脱炭素社会推進課	脱炭素社会は、県民一丸となって取り組む必要性があることから、省エネを啓発する「節電のキャンペーン」を令和6年度夏に実施しました。今後も継続的に実施していきます。	新規	県民一丸で取組むカーボンニュートラル推進事業(家庭の省エネ実践促進事業)	1,000
ユネスコ世界ジオパークに再認定されてよかった。2028年度の再認定に向けて気を引き締めてほしい。	山陰海岸ジオパーク海と大地自然館	令和6年のユネスコ世界ジオパーク再認定を契機に、ジオパーク活動の更なる活性化を図るため、ジオパークの新たな魅力の発掘やガイドなど、ジオパーク活動実践者の資質向上等を図ることとしています。	拡充	山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク活動推進事業	62,254